

第53号

小野の福祉だより

小野地区社会福祉協議会機関誌

発行

小野地区社会福祉協議会
郵便番号: 791-0244
住所: 松山市水尾町972-1
電話: 976-1200
発行責任者: 青木 良一
印刷所: 宮内企画

デジタルとアナログについて

今の世、デジタル技術なしでは、生活ができない状況です。テレビ、パソコンそしてリモコンなどすべて、デジタルのお世話になっています。一方アナログの代表は、誰も使わなくなったフィルムカメラであるが、この時代一枚一枚に気合を入れて撮影したものである。一方、デジタルカメラでは、撮影後にパソコンに取り込み、不要な映像は消すのみである。その分便利にはなったが、撮影技術は格段に落ちてしまった。

我が家の音楽環境は、相変わらずデジ・アナ混在であるが、ソニー・クランクのレコードと、同じ収録のCDを聞き比べると、断然レコードの方が音がいいと感じるのである。浅川マキのレコード盤が赤色半透明で発売され、自動プレイヤーでは、レコードの大きさを検知出来ず、完全マニュアルのプレイヤーに変更した。不便ではあるが、

アナログの不便さが心地よいのである。普段の生活に於いて、個人的にはデジタル的思考が強いと思っていますが、仕事での判断・思考は良否判定が多く、デジタル的思考に偏り、仕事を離れるとなぜか自然にアナログ的思考となっていくように感じています。社会福祉活動では高齢者や子供たちと接する機会が多く、人との繋がりにおいては、アナログ的思考が重要なポイントであると考えています。アナログの曖昧な判断に代表されるように、少しだけ「いいかげん」と「よもた」(伊予の方言)を入れながら、緊張しないで、ちょうど「いい加減」の地区社協運営を目指していきます。

小野サロンでは、抹茶の日を設定したり、ゲーム交流会なども準備中です。ゆったりと気を張らないで、「いい加減」の小野サロンで、ご利用をお待ちしております。

「自立」に向かって!

今年度、赴任してまいりました土居浩(どいひろし)と申します。早いものでもう10か月が経とうとしています。その間、感染症の影響により限定的ではありますが、保護者や地域の皆様にお会いしてやさしい人柄や地域の教育に対する思いを知ることができ、当地で学校経営ができることに喜びを感じています。

中学校生活3年間の最大の決断といえば、進路の決定になります。卒業までにどの進路へ向かうのか、どの高等学校へ進学するのか、その先、どんな方向性をもって、今何をしなければならぬのか。考えて判断して行動すること何度何度も繰り返し行い、判断精度を高めて進路決定していきます。

進路決定に際しては、生徒の決断も大切ですが、各御家庭の進路に対する考え方や高校卒業後の進み方、経済面等、様々な角度から御家庭で話す機会が必要です。そのような生徒自身以外のことも含めて話し合うことが真の意味の進路決定であり、「自立」へ向かう道幅を広げることになります。

その時々悩みが出てきますが、それは必要だから表出してくるものだと考え、それに目を背けないで一つ一つ解消していく粘り強い取組が求められます。

始業式や終業式に各学年一人ずつ生徒3名に将来の自分の夢について話してもらっています。今年度は、保育士、教師、スポーツトレーナー、スポンサー用品開発、建築士等の夢について語ってもらいました。夢に向かって今しなければならぬことをしっかりと捉え、見通しをもって行動している姿が見られて頼もしいなとも感心させられます。

また「自立」に関して、生徒は、いつまでも周りの環境に合わせ行動するのではなく、自分から自立した行動をとることや自分から動けるようになることが大切です。

積極性を身に付けることが大切といった各生徒が様々な解釈をして取り組んでくれています。

文化祭の人権劇「にじいろ」もみんながあらまに生きられる世界へ、では、性的マイノリティについて性の多様性を理解しようとして演じました。脚本、監督、演出、効果道具作成を生徒が役割分担し、主体性をもって進めました。その間、教員と生徒との話し合いによって表現、演出、台詞に何度か手が加えられ、試行錯誤の上に完成したものでした。スタッフは達成感や充実感を感じ、観劇生徒は、伝えたいテーマを強く感じていました。このように学校行事を終えるごとに「自立」への道を一歩一歩前進させていきます。

保護者、地域の皆様が快く応援していただける学校を目指して生徒の「自立」を促し、誠意をもって教育活動に努めてまいりますので、どうか今後とも御理解と御支援をよろしくお願いいたします。



民生児童委員・みまもり員名簿 (令和4年12月1日)

民生児童委員・独居高齢者みまもり員を私たちが務めます。気軽に声をかけてください。

番号	民生児童委員氏名	TEL	担当地区	みまもり員氏名
1	永井 眞也		小野町、小野谷、駄場	宮内 律子
2	奥村 芳樹		太尺寺、播磨塚	
3	阪本 千都子		北梅本本村	
5	藤岡 真須雄		大野中、北梅本町一部	
6	村上 佐枝子		大野下、大野住宅、こまちガーデン	福井 トシ子
7	宮城 正朝		南梅本北	
8	江戸 計江		徳永団地、はりま台団地	
9	八木 八重子		南梅本中、南梅本団地東	
10	高市 和佳		沖中、四国がんセンター西	上田 啓子
11	堀口 典子		南梅本団地西、南梅本団地北	
12	森 雄二		南梅本団地南、新村、緑野団地	
13	山崎 充子		水泥1、トヨド団地	
14	藤田 京子		水泥2北、水泥4	豊田 弘子
15	松家 富貴子		水泥2南、水泥3	
16	若狭 和千代		水泥4、上開団地	
17	境 建夫		日尾団地	
4	村上 考		大野上、北梅本町一部	西田 優子
18	竹本 良之		向井分館区域、与力、明神	
20	大嶋 美知子		上苅屋、古市	
21	山川 ナヲミ		平井分館区域	
19	桧垣 久恵		五楽、山田	本田 治子
22	大林 勝廣		今吉分館区域	
23	豊田 里恵		下苅屋分館区域	
24	窪田 志朗		畑中分館区域	
25	仙波 修		主任児童委員・小野地区全域	主任児童委員・小野地区全域
26	奥 裕美子		主任児童委員・小野地区全域	

R5.2.1 現在の小野のようす

人口(人) 17,303 男 8,255 女 9,048

世帯数(戸) 8,025

65歳以上(人) 5,476

高齢化率(%) 31.7

小野川柳クラブ
仙波 草苑 選
ひ孫がくれたラブレター
青野 輝子
今朝もご膳を高く盛る
井上 長忠
コロナなど
吹き飛んでゆけフラメンコ
三上 俊恵
小野川柳クラブ
毎月第四土曜日 小野公民館



松山市地域包括支援センター小野・久米
松山 絵理香

11月17日 お天気にも恵まれ、民生・地区社協とケアマネの交流会「みち草カフェ」を開催することができました。今回は「防災」をテーマに交流することになり、計画を立てました。

小野地区の3人の防災士さん、松山市南消防署東部支所のみなさん、松山

みち草カフェ
防災交流会を
開催しました！

市防災センター、梅本の里、平井町防災部など、たくさんの方々のご参加をいただき、充実した交流ができました。その名も「小野地区 防災交流会」単なる防災訓練ではなく、地域住民とケアマネジャーが顔を合わせてくくばらんに話しながら防災訓練の体験をする、というコミュニケーション重視の防災訓練です。

いざ災害が起こった時、乗り越えていくために最大の力となるのが「人と人のつながり」です。

普段からのなげないあいさつや会話がいった些細なコミュニケーションが大事です。

南海トラフ大地震がいつ来てもおか



支援システムづくり

小野地区自主防災組織連合会
会長 仙波 修

向春の候、皆さまには日頃より防災活動にご理解をいただき感謝申し上げます。

近年は過去に例のない災害が全国で多数発生しています。どのような災害に遭遇するかまったく予測がつかせん日頃からの備えが大変重要となり災害に強い地域づくりが必要です。

しくないこの地域で、改めて、住民とケアマネジャーが防災について語り合うことは、まさに防災力のUP！に繋がったと思います。

ケアマネジャーは起震車やスモークハウスを体験することで机上の防災マニユアルの脆弱さに気づくことができたとです。

こうやって防災のあり方を現実味を持って、そして他人事ではなく我が事と感ずることができたのは、何よりの収穫でした。

そして、交流会全体を導いてくれた3人の防災士さん(仙波さん、豊田さん、栗田さん)のリーダーシップに感謝！でした。頼もしい防災士の存在もまた大きな防災力になります。

小野地区の底力を見たと思います。私たちケアマネジャーも負けないように頑張っていきたいと思えます！！



小野地区自主防災組織連合会として現在、災害発生時また災害発生前にいて支援が必要な方をご近所助け合うシステムづくりに取り組んでいます。自主防災組織、民生児童委員、みまもり員、社会福祉協議会、近隣協力者の皆様にご協力をいただき各分館単位において安全確認や避難の声掛けをしていただく担当の方をそれぞれに決めさせていただきます。

お忙しい中、申し訳ありませんが被害を最小限に抑えるための活動とご理解いただき今回の活動をきっかけにして今後このシステムがさらに充実しより多くの方の安全や安心が確立出来る様に取り組んでまいりますので今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

小野地区青少年健全育成大会

令和4年度 小野地区青少年健全育成大会 人権標語

特選

- 小野中学校1年 松尾 珠和 様 「伝えよう 魔法の言葉 「ありがとう」」
- 小野小学校2年 三好 悠晴 様 「つたえよう どんなことにも かんしゃの気持ち」
- 一般 北岡 実紀 様 「いつてきます！」 元気な声に ほつとする」

入選

- 小野中学校2年 高橋 渚 様 「マスク越し 伝わる笑顔に ありがとう」
- 小野中学校3年 藤村 洸太郎 様 「どうしたの」 相手を助ける 第一歩」
- 小野小学校1年 相原 樂 様 「ありがとう ますくのなかでも につこりで」
- 小野小学校3年 川上 薫月 様 「きゆう食を おしゃべりしながら 食べたいな」
- 小野小学校4年 三好 駿仁 様 「何気ない あなたの言葉が ぼくのパワー」
- 小野小学校5年 山内 琉煌 様 「ありがとう」 小野っ子たちの ま法の言葉」
- 小野小学校6年 兵頭 虎太郎 様 「笑い合う その日常に ありがとう」
- 一般 宮内 美穂 様 「あたりまえ」 感謝に変えて 「ありがとう」

表彰者の紹介

R4.9	☆松山市福祉大会	松山市長表彰	民生委員・児童委員功労	大嶋美知子
	☆	〃	〃	大林 勝廣
	☆	〃	〃	奥村 芳樹
	☆	〃	〃	阪本千都子
	☆	〃	〃	仙波 修
	☆	〃	〃	田村由里子
R4.10	☆松山市社会福祉協議会会長表彰	ボランティア活動功労者	堀口 典子	河田 啓子
	☆松山市共同募金会会長表彰	共同募金運動功労者	河田 啓子	佐伯紀美子
	☆愛媛県福祉大会	永年勤続民生委員児童委員表彰	山川ナラミ	

令和4年度赤い羽根共同募金のお礼

小野地区およびそれ以外の地区からも共同募金をお願いした結果、右記のように集めることができました。ありがとうございます。

対象	金額	協力組織
個人	1,445,845円	各地区・地域連絡協議会
一般・法人組織	907,000円	小野地区社協・民児協
計	2,352,845円	達成率 105.0%

*小野地区目標額 2,240,800円